

富山県看護連盟・支部研修会報告 (平成 27 年 4 月分)

区 分	内 容
会の名称	富山県看護連盟 砺波・小矢部・南砺支部合同研修会
研修の目的 ねらい	災害現場の医療の実際、活動を学び、災害派遣医療の啓蒙及び知識を深める。
開 催 日	平成 27 年 4 月 26 日 (日) 13:30 ～ 16:00
会 場	市立砺波総合病院 3階 講堂
主 催	富山県看護連盟 砺波・小矢部・南砺支部
(共 催)	
対 象 者	砺波・小矢部・南砺支部 看護職者 市議会議員
出席者数	96 名
研修方法	講義 パワーポイントを使用して説明
内 容	DVD放映 解説 平成27年度 富山県看護連盟研修計画 平成27年度 砺波・小矢部・南砺支部研修計画 講師：南砺支部長 酒井けい子 講演 災害医療の実際 講師：市立砺波総合病院 集中治療・災害医療部 部長 廣田 幸次郎 先生 災害派遣医療チームの活動と災害看護 講師：市立砺波総合病院 HCU主任看護師 島 美貴子
特記事項	参加者名を報告します。

提出日 2015. 5. 9

提出者 砺波支部長 作田克喜

資料添付 ☒ 有 ☐ 無

地区支部研修会を開催しました



風薫る好季節となってきた4月26日、砺波・小矢部・南砺地区支部研修を開催しました。今回は、南砺支部長 酒井けい子さんから「平成27年度富山県看護連盟研修計画、砺波・小矢部・南砺支部研修計画」の解説をしていただきました。市立砺波総合病院 島美貴子先生から「災害派遣医療チームの活動と災害看護」について、同病院の廣田幸次郎先生からは「災害医療の実際」について講演していただきました。



解説を聞いて、看護を行う為に看護連盟の活動が重要と感じた方が90%を超えました（アンケート結果より）

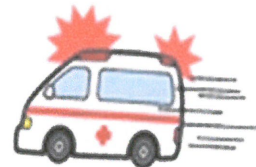


96名が参加



防災から減災へ

災害時に発生しうる人命や財産の社会的混乱や被害を最小にするための取り組みです
自施設・自部署の「災害時アクションカード」を作成しておけば、すぐに報告・連絡・相談・対処ができます



大規模災害では、平時の常識は通用しない！

本来、行政がすべきことの肩代わりも必要になってきます
機能できない他者を当てにしても、事態の改善は望めません

平時のうちから計画を

まずは自分、次に自院、そして砺波医療圏や富山県、できれば美しい日本を守るために！

石巻赤十字病院～東日本大震災 初動の記録～
You Tubeでぜひ、見てください

研修後アンケート結果

- ・災害医療と看護の難しさを改めて感じた
 - ・小さなことからでも、日ごろの訓練が大切だと思った。今、できることから取り組む事が大切だと思った
 - ・行政の方や福祉現場の方々と共に聞きたい
 - ・今後、院内でも平常時でも、どのように活動をしていくか考える良い機会となった
 - ・災害発生時のアクションカードについて考えたい
 - ・富山県は自然災害の少ない地域で他での災害は他人事のように思ってしまう、反省している
 - ・チームで動くことの大切さがわかった
- などの意見が聞かれました



第1回地区支部合同研修会アンケート集計結果

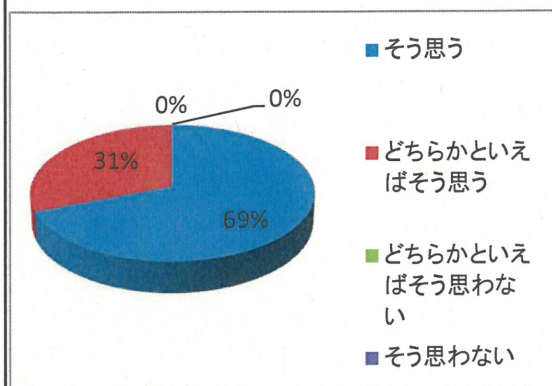
作成日：平成27年4月26日

富山県看護連盟 砺波・小矢部・南砺支部

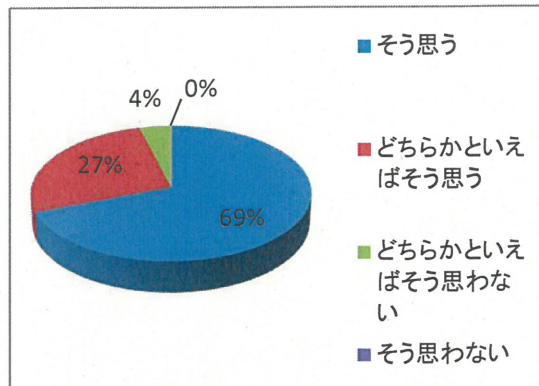
研修会名	解説「平成27年度 富山県看護連盟研修計画・砺波、小矢部、南砺支部研修計画」 講演「災害派遣医療チームの活動と災害看護」「災害医療の実際」										
アンケート担当者	今井 真由美										
対象者	地区支部合同研修会に参加された砺波・小矢部・南砺支部看護連盟会員および非会員										
結果	配布数 96 回収数 78 回収率 81%										
設問1. 年齢 <table><tr><td>■ 20～29歳</td></tr><tr><td>■ 30～39歳</td></tr><tr><td>■ 40～49歳</td></tr><tr><td>■ 50歳以上</td></tr></table>				■ 20～29歳	■ 30～39歳	■ 40～49歳	■ 50歳以上				
■ 20～29歳											
■ 30～39歳											
■ 40～49歳											
■ 50歳以上											
設問2. 参加動機 <table><tr><td>■ 自主参加</td></tr><tr><td>■ 上司に進められたが自分で判断して</td></tr><tr><td>■ 上司に勧められた</td></tr><tr><td>■ 命令</td></tr></table>				■ 自主参加	■ 上司に進められたが自分で判断して	■ 上司に勧められた	■ 命令				
■ 自主参加											
■ 上司に進められたが自分で判断して											
■ 上司に勧められた											
■ 命令											
設問3 解説「平成27年度 富山県看護連盟、砺波・小矢部・南砺支部研修計画」について											
(1)看護連盟の活動・役割が理解できた (2)私たちが看護を行うために看護連盟の活動が重要だと感じた											
<table><tr><td>■ そう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思わない</td></tr><tr><td>■ そう思わない</td></tr></table> <table><tr><td>■ そう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思わない</td></tr><tr><td>■ そう思わない</td></tr></table>				■ そう思う	■ どちらかといえばそう思う	■ どちらかといえばそう思わない	■ そう思わない	■ そう思う	■ どちらかといえばそう思う	■ どちらかといえばそう思わない	■ そう思わない
■ そう思う											
■ どちらかといえばそう思う											
■ どちらかといえばそう思わない											
■ そう思わない											
■ そう思う											
■ どちらかといえばそう思う											
■ どちらかといえばそう思わない											
■ そう思わない											
(3)解説の内容はわかりやすかった (4)解説は興味を持って聞くことができた											
<table><tr><td>■ そう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思わない</td></tr><tr><td>■ そう思わない</td></tr></table> <table><tr><td>■ そう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思う</td></tr><tr><td>■ どちらかといえばそう思わない</td></tr><tr><td>■ そう思わない</td></tr></table>				■ そう思う	■ どちらかといえばそう思う	■ どちらかといえばそう思わない	■ そう思わない	■ そう思う	■ どちらかといえばそう思う	■ どちらかといえばそう思わない	■ そう思わない
■ そう思う											
■ どちらかといえばそう思う											
■ どちらかといえばそう思わない											
■ そう思わない											
■ そう思う											
■ どちらかといえばそう思う											
■ どちらかといえばそう思わない											
■ そう思わない											

設問4 講演「災害医療の実際」について

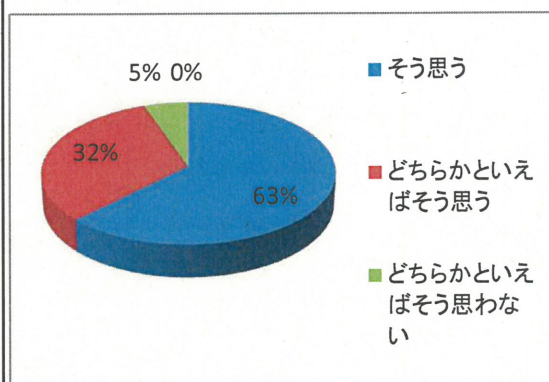
(1) 講演内容はちょうど良いレベルに設定されていた



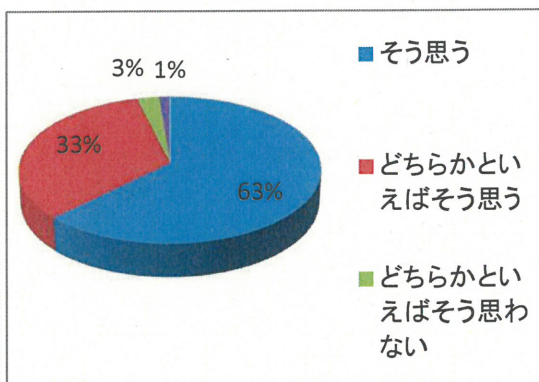
(2) 関心を持ち、積極的に参加できた



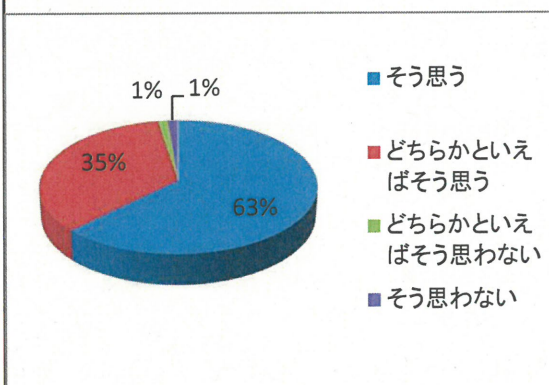
(3) 実践に役立つ内容だった



(4) 今後の意欲を刺激された



(5) 続編があれば参加したい



意見・感想

- ・石巻日赤Hpの対応を通して、災害医療と看護の難しさを改めて感じた。とてもわかりやすい解説でした。帰って動画、見ます(笑)
- ・小さなことからでも日頃の訓練が大切だと思った。今、出来ることから取り組むことが大切だと思った
- ・行政の方や福祉現場の方々とともに聞きたい
- ・すごい一言です
- ・お疲れ様でした。ありがとうございました

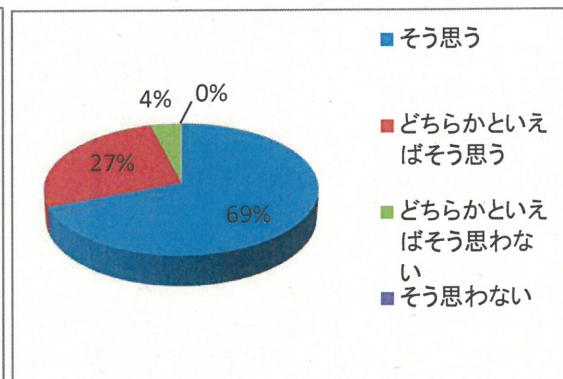
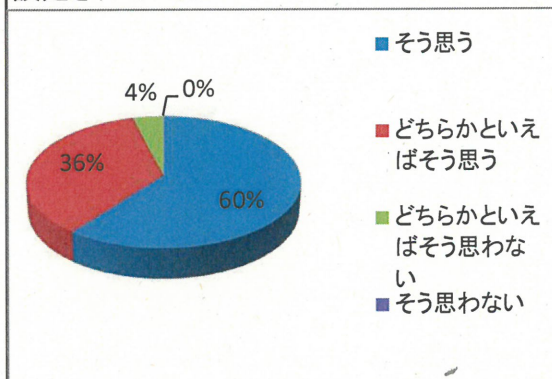
- ・指令、リーダーの重要性、冷静さが要だと思いました
- ・行動を考えたい
- ・今後、院内でも平常時でも、どのように活動をしていくか考える良い機会となりました
- ・ありがとうございました。災害は他人事ではないので、どう動いてよいか考えなければいけないと思いました
- ・ユーチューブをまた見られる機会があれば良い。先生の話、分かりやすかった
- ・改めて、災害時の対策など今一度、確認する必要性を感じました
- ・今回の話は大変興味深いものでした
- ・動画が見られず残念だった
- ・他者をあてにしていけないという大変な事態であると分かった。自分たちの力でどうにかしなければならぬらしい

設問5 講演「災害派遣医療チームの活動と災害看護」について

(1) 講演内容はちょうど良いレベルに

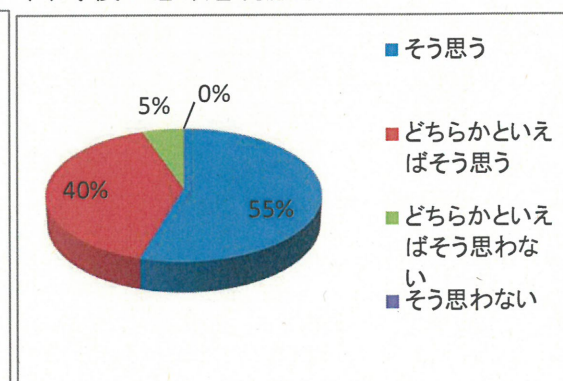
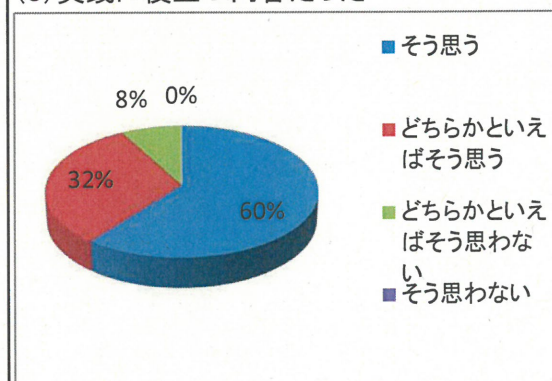
(2) 関心を持ち、積極的に参加できた

設定されていた

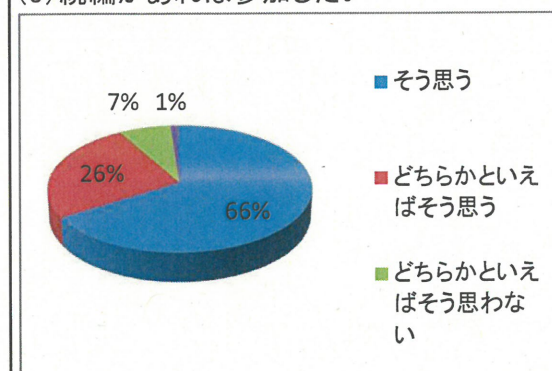


(3) 実践に役立つ内容だった

(4) 今後の意欲を刺激された



(5) 続編があれば参加したい



意見・感想

- ・昨年、看護協会の「災害医療と看護」の研修を受講し、今年はその応用編を受講予定、昨年度の振り返りも出来、とてもわかりやすくて良かった
- ・実感はないが大切なことだと思いました
- ・コーディネーターの重要性
- ・災害発生時のアクションカードについて考えたい
- ・できるところから参加していきたいと感じました
- ・訓練が実践に活かされて欲しい
- ・良い内容でした。地域のことを考えていききっかけとなりました
- ・研修を受けたことがなく、少し内容が難しく感じた。災害がおきにくい地域にいるため、日頃からの備えが大事と再認識させられた
- ・日頃からの心構え、備え、経験を活かしながら先を見ることの大切さ
- ・一般市民ではなく医療者として災害医療というものを身近に感じる事が出来ました
- ・災害について考えさせられた
- ・お話にあったように富山県は災害が少ないところです。特に自然災害はないといっても過言ではないです。他での災害は他人事のように思ってしまう。反省しています。自分にも何か出来ることがあるのを確信しました
- ・全く勉強したことがない内容だったので興味深く聞く事が出来た。普段の仕事も今日の講義を参考に頑張りたいと思う
- ・助けたい気持ちがあってもチームで動くことの大切さが分かった

看護連盟への要望、今後、開催して欲しい研修など

- ・ストレスとの上手な付き合い方
- ・社会保障etc国の政策について
- ・有意義な研修企画、ありがとうございました
- ・若い人にはもっと魅力ある研修をして下さったらうれしいです。例)世界遺産散策、新幹線を見に行こうを含め、バスの中で研修するとか・・・
- ・今回の続編を今後開催して欲しい